

エコノミークラス症候群

吉良内科循環器クリニック 院長 吉良 哲也



今回の熊本・大分地震で被災された方にお見舞い申し上げるとともに、早く平穏な日常が戻るよう願っております。今回震災に関連する疾患としてエコノミークラス症候群が連日取り上げられていました。

エコノミークラス症候群を、医学的に定義すると「下肢静脈血栓症に伴う急性肺動脈血栓塞栓症」となり、簡単に言うと足の静脈の血栓が肺の血管に流れついて引き起こす肺梗塞と言えます。心筋梗塞や脳梗塞はよく聞きますが肺梗塞は聞きなれないと思います。肺梗塞の発生頻度はそう多くないので、あまり知られていませんが、重症な場合の致死率は心筋梗塞や脳梗塞よりも高い危険な病気です。長距離移動の飛行機の座席で同じ姿勢のまま座っていると足の静脈に血栓が生じやすくなり、到着後に空港内のロビーを歩いているときに血栓が足から肺に流れ着き、倒れてしまう事があり、この名前がつきました。

飛行機や避難生活での車中泊が原因となりますが、それ以外にも、長距離のバス旅行や、骨折や腹腔鏡手術、心筋梗塞などの病気で長期臥床が続くと発症することもあります。また女性、下肢静脈瘤や肥満、生活習慣病の存在は発症のリスクが高くなります。症状としては、突然の胸痛、呼吸困難が起こり、ひどい場合は失神、突然死を引き起こします。予防するためには、こまめな水分補給、下肢のマッサージ・運動が重要です。長時間座り続ける時は、ふくらはぎをもんだり、足の指を開いたり、反らせたりを繰り返すようにしましょう。

吉良内科循環器クリニック 大分市大字角子原 870 TEL097-522-3000